

STOP SNS犯罪被害

SNSによる犯罪被害について

SNSを通じて犯罪の被害にあった児童・生徒は年々増加しており、令和元年には過去最多の2,082人が被害に遭いました。令和2年～4年も1,800人前後で推移し、被害者数は高止まりしています。

SNSを通じて、こんな犯罪にあってしまうことも・・・

女子中学生誘拐 容疑の男を逮捕

神戸で宇都宮中央署

県内の女子中学生を連れ去ったとして、宇都宮中央署は26日、未成年者誘拐の疑いで神戸市、無職男(30)を逮捕した。女子中学生は同日に同市内で保護され、けがはないという。同署は刑事責任能力の有無などを調べている。

逮捕容疑は、交流サイト(SNS)を通じて知り合った宇都宮市、女子中学生(12)が未成年と知りながら、24日ごろ～25日、スマ

「お家の人にしかられて家にいたくない。」「東京など遠いところに行ってみたい。」など、SNS上で知り合った人と軽い気持ちで連絡を取り、実際に会ってしまうことで、犯罪被害に巻き込まれるケースが増えています。

特に夏休み中はこうした事件が多く発生します。

令和4年6月27日

宇都宮市の女子中学生が、SNSを通じて知り合った男に、神戸市に誘い出され誘拐される事案が発生しました。

1トフォンを使用して「俺の家に来なよ。泊まっていよ」などと誘い出し、同日ごろ、JR宇都宮駅で女子中学生と合流し、新幹線を利用して連れ去り、兵庫県またはその周辺にとどまらせて誘拐した疑い。同署は中学生の家族から相談を受け、捜査していた。男は容疑を一部否認しているという。

(下野新聞 令和4年6月27日掲載)



警察官からのアドバイス

SNSの危険性について

SNSには、自分も他人も傷つけるおそれがあります。いじめや裸の画像を送る(送られる)等の性犯罪被害、誘拐被害が例としてありますが、SNS上の危険性があることを認識していただき、お子様が有意義な学校生活を送れることを一番に考えていただきたいと思います。

保護者はこんなことに気を付けて！

お子様とスマホの適正利用について話し合っていたきたいと思います。そして、SNS上の危険性について、お子様に教えていただければと思います。日頃のコミュニケーション、家庭でのルールを作ることが大切です。



家庭でのルールの例

- ・SNS上で他人の悪口を書かない
- ・SNSでのやり取りやスマホの中身は定期的に保護者が確認する
- ・会ったことのない相手とはSNSでつながらない 等

SNSによる子どもの犯罪被害

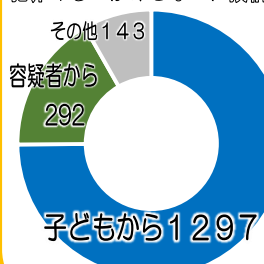
警察庁調査(令和4年)

SNSを利用して犯罪被害にあった児童生徒

1732人 { 中学生718人
小学生114人

犯罪被害の9割は
児童ポルノや児童買春等

最初の投稿は子どもから
犯罪のきっかけとなった投稿



子どもが犯罪者と知り合うきっかけとなった最初の投稿は、約75%が子ども自身による投稿であり、趣味等の投稿から犯罪に巻き込まれる例が半数以上を占めています。

